

A 建設候補地に関するもの

1 寄せられたご意見

受付 No.	ご意見
1	胎内市生涯学習施設を現公民館及び旧町体育館跡地に建設することを強く要望します。 その理由 1.胎内市有地の活用となる。又周辺は空地・荒地・農地で転用しやすい。(拡張、駐車場、産業道路につなげやすい。) 2.現在の図書館、公民館の利用者数を見ると半数以上が60代以上である。周辺の人交通機関を利用しなくても通える。 3.災害時の活用として、大いに期待できる。(上記の下線部については、同様である。) 4.中条中学校の生徒達が普段の授業・行事に利用しやすくなる。又、今後の学習意欲向上にもおおいに期待できる。(村上、新発田では活用済) 5.最大のポイントは、誰でも歩いて行けるということです。市外の方々には産業道路へのアクセス道路を整備すれば更に活用しやすくなると考えます。
3	生涯学習施設構想について、以下、コメント(要望)をさせていただく。 図書館、公民館、交流施設と多目的複合施設にすることは賛成だが、その利用のし易さ、足の運び易さは工夫が必要。特に場所(建設地)は重要なポイントと考える。 利用者の年齢層を考えたとき、車社会とはいえ、子供や高齢者にとって歩いて行ける距離感、移動時の安全性を踏まえ、立地場所を選定すべきと考える。 昨今、市街地は、大型スーパーが移転したり、今回図書館が移転することになれば、益々空洞化が進むことが懸念される。現状の図書館利用者をみると、子供連れ、中学生、高校生、シニア層と幅広いが、中学生、高校生は学校の帰り(列車通学の人)に利用している。シニア層は歩いたり、自転車で通っている人も多い。胎内市は農業、工業などの産業がバランスよく営まれ、発展しており、働いて住める環境が整っていると認識している。 そんな中、文化的観点からみると寂しい限りであり、生涯学習施設構想がより魅力的な街づくりに寄与するものと期待している。子供達が誇れる、誰でもいつでも気軽に行ける場所であって欲しい。市役所、高校、中学校、小学校、そして医療機関(開業医も含め)から近くて、移動の動線に位置することが利用のし易さにつながると考える。 建設地としては上記考えをもとに旧町体育館現公民館あたりを推薦したい。位置が重要であってスペースとしてはコンパクトでもいい。近在のモデルでは、阿賀野市旧京ヶ瀬村の図書館のある公園(ふるさと公園)が思い浮かぶ。参考にしたらいいのではと思う。
4	生涯学習施設を嘉平山に造る計画みたいですが現在の公民館と旧体育館跡地に作ったほうが早くできると思います。市長は旧体育館の跡地に作っても大型バスが入らないと言ってるけど大型バスが入る事業が年何回おこなわれますか？ま先に敬老の日には大型バスが相当の数入ってきた経緯があります。また公民館の利用者はどちらかと言うと高齢者が多く利用してます。徒歩でくる方も大勢います。嘉平山だと徒歩ではいけません。交通の手段も考慮してください。
6	嘉平山は現在更地でしょうか？ 施設を作る前に山を崩し更地にするのに費用はどのくらいかかるのでしょうか？ 土を売っても旧体育館跡地に作るほうが係る費用は少なくて済むと思いますがどうでしょうか？ 今一度ご検討ください。
7	図書館建設におもいこしをあげたようですが 建設場所なのですが なぜ 嘉平山なのかが疑問。 例えばプレスボ胎内辺に総合施設とすとか、「コメリ」が移転後の土地を交渉すとか、先ずは利用者が利用しやすい場所を選択すべきでは。 新発田などは駅前に施設がある。まずは 利用者優先を。
12	建設場所を再考して欲しい。 胎内市の中心部から離れていて、多くの人が車で利用が必須になる。学生が利用しやすい場所、自転車でも通いたくなるような場所を提案して欲しい。人口減少が進む中で、施設を中心地から離れたところに新しく建てるのは施設の利用者が減ることにも繋がる。街全体をコンパクトにして、公共サービスが行き届くように、生涯学習施設だけでなく、今後の街作りもイメージして立地場所を考えるべきである。 もし、避難場所も兼ねて高い場所への建設を考えているならば、それは別に建設を考えるべきだ。生涯学習施設として、利便性の優先度は決して低くしてはいけないと思う。 建設場所については、子どもを持つ世帯から広く意見を集めて、決定して欲しい。その際はイメージしやすいように候補地を複数あげて欲しい。多額の税金を使うのだから、どうか慎重に考えて頂きたい。
14	◎関沢地内の候補地は反対です!! (理由) 町内の人達は国道7号線をこえて行かなければならず、車以外で行く子供や高れい者等にとっては危いし、利便性が非常に悪いです。 免許がある人もない人も老若男女、もっと気軽に利用できる場所でないという意味がないです。 国道7号線をこえるのは遠いです。もっと中心地に近い場所の再考をせつに望みます。 ★浜手や黒川方面の方々はどうちにしろ車利用になると思うので、国道7号線をこえる、こえないは関係ないと思います。
15	市民の公共施設の役割は、市民誰もが使い易い場所であることが最優先です。関沢地内の候補地では、旧中条地区の住民では遠すぎて、自家用車でしか行けず、子供達も自転車で行くには国道7号線を渡るには危険を伴います。又、山が近いため、熊などの獣が出やすい場所では不安があります。以上の理由で7号線より手前の場所に建設してほしいと考えます。どうかご検討ください。よろしくお願いします。 ※私としては現市役所、産業文化会館の近くにまとまって文化施設を作ったらいかがでしょうか。
21	皆さんが使い場所がいいです。私ら年よりは車がなければいけない所ではこまります(町中)
22	・5/21(水)日報で市長は嘉平山を最有力候補地と考えていると書いていたようで、5/25(日)のパブコメはどういう意味付けなのかと大変疑問視しましたが、出席議員の方々もそれについては全く知らなかったと述べていました。どういうことなのでしょう、市長の個人的意向でしょうか？ パブコメの参加者は一人も嘉平山に賛成していませんでした。 ・5/25(日)パブコメに参加し、改めて市の中心部の旧中条町体育館跡地及び中央公民館に建設することを強く要望します。 理由①利用者目線として地の利の良い所、小中学生が自ら歩いて又は、自転車でも通える所(高齢者も同様)。嘉平山では子どもだけでは不便で危険も多い。(高齢者も同様)

	②旧町体周辺は中条中学校に隣接し中学生や小学生が課外活動・授業で利用しやすくなる学習環境として最高である。 中学生の生の声をぜひ聞いてほしい。旧町体跡地と嘉平山のどちらが利用しやすいのかを。 ③市内中心部に建設することにより、市内の空洞化を防止できるのではないかとと思われる。市役所、病院、行政と連携もよい。 ④公民館活動にも誰でも積極的に利用しやすい。 ⑤小さい子供を安心して遊ばせることが可能である。 ⑥市民の声をもっと聴いて欲しい。一方的に情報発信のみでなく、反応をしっかりとうけとめて判断してください。 ⑦誰でも利用しやすい、生涯学習施設を考えると以上のことから旧町体跡地が最有力候補地です。空地も多く駐車場も十分です。 ⑧「嘉平山」は市の遊休地と新聞に記載がありましたが、中条町まつり等の花火をあげる場所として活用を今後も利用していけば十分であると考えます。（周囲に民家もない。） ⑨いずれにしても車社会ですが、市内中心部以外の市民の方々には、それぞれの近隣に公民館があるのではないのでしょうか？（黒川→旧黒川村役場、乙→どっこんすいの館など。） ⑩市中心部の市民の利便性をも十分に考えて、コンパクトで使い勝手の良い施設を設置してください。 ⑪巨大で大金をかける施設建設を望むのではなく、胎内市の身の丈に合った使い勝手の良い誰でも身近に感じられる、通いやすく利用しやすい施設を切望します。 以上、よろしくお願いします。
26	生涯学習施設を作ることは大賛成です。 新発田のイクネス図書館をよく利用していました。 病院の帰り（新発田 HP）自分の時間が欲しい時に利用し心がいやされました。 ただ立地場所、関沢の山の方に作る事には反対です。 誰でも利用しやすい町の中や駅の近くが良いと思います。 高齢者や子供達が利用しやすい誰でも利用しやすい所、場所をぜひお願いしたいと思います。 宜しくお願い致します。
31	基本的な考えには賛成です。 特にいろいろな世代の人が使えるようにという点に賛同します。 そのためには、場所の選定をもう一度見直していただきたいと思います。 計画に上がっている関沢は、車を運転する人には使いやすいですが、運転しない世代の、小中高生や高齢者には使いやすいとはいえません。 オンデマンドタクシーの利用が計画にあげられていますが、小中高生が使うとは思えません。 いろいろな世代が使いやすいように場所の選定を今一度検討していただけますようにお願いします。 元中条体育館跡地が統合中学校として候補になっていることは承知していますが、その場所での設立を希望します。
32	候補地嘉平山について ・5月25日開催の「市民と議会の意見交換会」に行ってきた。総務文教委員だったが、生涯学習施設の検討委員会のメンバーだったという方が”会としては賛同していない”と発言されてビックリ!! それでは検討委員としては賛同してもいないのに、賛同したことにして、わずか延べ80人のワークショップの開催で市民の声を聞いたと、どんどん計画を進め、候補地まで決まりかけようとしている。5月21日付の日報では、嘉平山を有力候補地のような記事が出た。これでは、市民の声を無視して（おとなしいのをいいことに）だれかの思惑に沿って強引に進めていると言われてもしょうがない。 ・万が一、災害があって、嘉平山に大勢の市民がおしかけるような事態を想定すると、国道を横切っていく車、人で大混乱が起きるのではないか。高齢者は行けません。 ・市有地、嘉平山が長い期間利用・活用されなかった理由は何か？ ・嘉平山に大規模生涯学習施設を建設することに対して、民間事業者の関心が低い原因は何か？ ・45億もの建設費をかけた大きな施設が利用・活用されないようなことになるのではないか？（長池の二の舞） ・山の中で、水害、熊被害が大変心配だ。 ・6月1日の市報に、気象防災アドバイザーの紹介があったが、嘉平山は土砂崩れの心配があるだが、大丈夫か。 ・中央公民館と図書館の老朽化による生涯学習施設の計画なので、その二つの機能を持った施設を建設するべきではないか。コンビニや子どもたちの遊び場などと拡大するから広い用地が必要になってくる。 ・街中から、公共施設がなくなるのは街中の空洞化につながってしまうことになり、困る。気軽に集まることのできる公共の場が街中にあれば、小さな集会（特に北本町総会）、発表会、趣味の会など、今公民館で行われてきたことが、継続して行うことができる。（防災面でも近くに避難場所が必要。） ・以上のことから、旧町体跡地での建設を希望する。いずれ、中学校が統合するらしいが、中条中学校を改築してそこに、図書館と公民館を併設すればいいと思う。そうすれば、子供から、大人まで、生徒は帰宅途中に気軽にやることができる。 ・「ワークショップ」「パブリックコメント」等わかりづらい用語は使わないでほしい。広く市民の声を聞こうという姿勢があるなら、わかりやすい言葉を使うべきだ。市役所と市民の隔たりを感じる。
35	公民館と図書館を一体化させて、市役所周辺に移動して欲しいと思います。 胎内市民の高齢化が進んでいるので、車での移動が必要ではないところがいいと思います。 中学校を合同にし新しくするのであれば、プレスポ周辺、又は市役所周辺がいいと思います。 今の場所は道路状況が狭く危ないので、統合する際はバスや車の便を考え広い敷地のある所へ設置して欲しいです。
36	施設の場所について ・識者が時間をかけて選定した場所について抗議はいたしません ただ単に、長年遊休地の市有地を利用することを目的としているなら再度お考え下さい 鳥獣害の防護、周遊バスやシャトルバスなど交通の利便性担保をお願いいたします

	施設への希望 ・生涯学習の施設を鑑み利用者の作品展示備品充実をお願いします（照明、展示用フック・ワイヤー・パネルなどeスポーツ、カラオケルームなど市民のコミュニケーションが図られるネット環境の充実） ・図書については提携された市内外の施設との交流ネットを考えてください ・施設の維持費用の軽減に留意ください（太陽光を利用し施設の電力を賄う、芝生公園を造成するなら敷地全体でなく必要な部分だけとする、樹木の栽植は施設や胎内市のアピールには必要だが手入れに費用が掛からないものになど）
37	柴橋自治会を代表して、意見を述べます。 施設の基本構想に関しては、概ね賛同できる内容です。 建設予定地に関して、嘉平山ではなく旧柴橋小学校跡地がより望ましいと考えます。 【理由】 1. 4 世紀前半に築造され、前期古墳時代のものとしては、日本海側最北端であると言われている国の史跡である城山古墳が旧柴橋小学校のすぐ近くにある。付近には城山古墳にゆかりの住民も居住しており、生涯学習施設の核の一つとして城山古墳関連のコーナーを設けるなどの方策を取ることで、より多くの人が興味関心を持って施設を利用することが期待できる。 また、江上地内の奥山荘城館遺跡も近接しており、両者を胎内市の歴史的価値を広く発信する上での中核ととらえ、城山古墳と奥山荘城館遺跡のほぼ中間地点に位置する柴橋地域に施設を作った方がより発信の効果が大きいと考える。 2. JR 羽越線中条駅の西口の柴橋地域、西本町地域は、世帯数が増加しており、より多くの住民の利用が期待できる。宅地造成は依然として進行中で、中条駅西口周辺に居住する人口は増加するものと思われる。また、中条駅西口から旧柴橋小学校までの距離は約 1,200m とそれほど離れておらず、市街地中心部からも距離的には遠くない。平坦な土地で自転車や徒歩で行き来する人も多く、通勤通学で列車を利用する人にも利用しやすい立地条件である。 さらに、海岸寄りに位置する場所であることから、関沢地内の嘉平山よりも積雪量が少ないと見込まれ、利用者にとってはより利用しやすい環境であると言える。 3. 柴橋自治会は、長年、柴橋地域ふれあいセンターの指定管理者として長年に渡って管理運営に携わってきた。この間、郷土写真家の展示場として、また塩津潟（紫雲寺潟）の研究所として利用されてきた経緯があり、地域住民の生涯学習に関する意識が年々高揚してきている状況である。旧柴橋小学校跡地に生涯学習関連施設が立地することにより、公民館や民間団体が開催する生涯学習関連講座の実施の際のボランティアの確保や、生涯学習サークルの立ち上げ等の際も地域のマンパワーを活用しやすい情勢にあると言える。 4. 公共施設の建設に当たっては、より多くの住民にとって間近に立地することは大切な要素であると考えられる。中条駅西口の大きな行政区である西本町、柴橋、本郷町、西条町、あかね町の世帯数は、胎内市の全世帯数の約 16.6%を占めている。（令和 7 年 4 月末現在）このことから、旧柴橋小学校跡地に建設することの公共性は低くないと言える。 5. 保健福祉施設ほっと HOT・中条や胎内小学校が近隣に存在し、これらの施設との連携による事業展開も可能で、基本構想で述べられている、 ・交流人口増加による活力あるまちづくりの推進 ・誰もが気軽に立ち寄れる利用しやすい環境と場所の提供 ・子ども、子育て世代が集える環境と場所の整備 ・様々な年代の市民が集い、出会い、交流する場所の提供 ・快適で居心地が良く長時間滞在を可能とする場所の提供 ・市民まちづくり団体の活動拠点となる場所の提供と活動の支援 などの目的を達成するに適した立地であると言える。
41	今回の生涯学習施設の整備計画は、市民の学びや交流を促す素敵な構想だと思います。多世代が集まれる施設が胎内市にできることはとても意義のあることだと感じています。 ただ一方で、建設場所については慎重に再検討していただきたいと考えています。 というのも、建設予定地周辺の道路は、現在でも車の通行量が多く、T 字路では過去に事故が起きたこともある場所です。そこに新しい施設ができれば、交通の混雑や、自転車・歩行者との接触事故のリスクが高まるのではないかと心配しています。 さらに、生涯学習施設は高齢者の方々も多く利用されることが予想されます。その際、高齢ドライバーによる自家用車の利用も増えると考えられ、運転操作ミスなどによる事故の可能性も無視できません。 素敵な施設ができて、その周辺で不安を感じながら通うことになるのは本末転倒です。特に、高齢者の利用も多くなることが予想される中で、自家用車を使う高齢ドライバーが増えると、交通事故のリスクも高まる恐れがあります。安全面から見ても、もっと交通アクセスが整っていて、すでに交通量の多い場所ではないエリアへの設置を検討していただけたらと思います。
42	建設予定地としている「嘉平山」地域は、確かに屋内外の憩いスペースや広い駐車スペースを考えると適地と思えます。しかしながら、近年熊の出没頻度が増しているなかでこの地域に建設するのは疑問が残ります。施設を利用する人の安全をどのように守っていくか対策等があれば考えをお聞かせください。
44	広い駐車場で車で来場する人には便利だが、実際図書館を利用する学生や年配者は徒歩、自転車、デマンドタクシーで行かなければならない。 郊外にあるため、ちょっと本を借りるのにわざわざデマンドタクシーに乗るのも料金がかかるし、徒歩には遠いので今 1 番図書館を利用している人の足が遠くのではないかと？ また公民館で現在行っている平日の習い事に気軽に通えなくなる人がたくさんいると思う。皆んながみんな車を運転している方なら良いが、免許がない人は気軽に利用できなくなると思う。 なので嘉平山に建設するのは反対です。
46	1 建設候補地について 幹線道路からのアクセス、駐車場の確保とありますが、確かに重要なことではあるが、現在の中央公民館の利用者で、自転車や徒歩の方がどのくらいいるのかわ

	からないが、夜はともかく、日中はそれなりにいるのではないかと、 しかもこれらの方は、高齢者と思うし、国道を越えて行くのは地下道があるとはいえ厳しいのではないかと。 また、嘉平山については、楕形断層との関係の記述がないが、果たして安全な場所と言えるのか疑問に思う。 これらのことから、建設地はウオロク旧中条店がよいのではないかと。現在は、民間事業者が借りているが、その期間は3年間と聞いている。その間に設計などの準備をすればよいのではないかと。しかも、ウオロクが移転してからは 産業道路の交通量も減少しているので、アクセスも良いし、駐車場もそこそこの広さがある。 新規に土地を取得することになるが、今後の人口減少見込みなどを考慮すると、ほっと・HOT 中条の集会室も休日はあまり使用されていないようだし、産業文化会館や学校開放のあり方なども検討しながら、あった方がよいものとなければならぬものを整理し、割愛できるものは割愛すれば建設費も抑えられ土地の取得費にも充てられるのではないかと。 2 嘉平山の活用方法について 計画にある交流施設機能のうち、屋外での交流スペースとし、子供たちがのびのびと走り回れる芝生の広場と東屋を数棟、あとはトイレと駐車場があればよいのではないかと。 クアハウスのある場所は、かつては芝生の広場で子供たちが走り回っていたことから、あえて遊具は必要ないのではないかと。子供たちの創造力を育てる場とするべきで、整備費については、あそこの土を売却することによってかなりの部分が賄われるのではないかと。また、飯角側は法面となるので、芝桜を植えるのもよいのではないかと。 なお、参考までに北海道帯広市の近くの十勝川温泉に広大な芝生公園(10ha 余り)があり、さすがは北海道だなと思いました。30 年以上前のことでしたが、今はどうなっているかわかりませんが、当時、遊具はフィールドアスレチックのみで、起伏のある芝生公園で感動した経験があります。
52	「学びの拠点」は旧体育館跡地することが最善と考えます 理由 1. 半山に住んでいると活断層の存在が常に気になっているその近くに造るべきではない 2.多勢の子供達利用する施設となるが案の場所は交通量の多い国道7号線を横断することになり事故のリスクも高くなることが懸念される 3.旧体育館跡地は中心部に近く小、中学校にも近い 今まで体育館、公民館として親しまれていた場所であり一番良い場所であると考えます
53	建設予定地について ホームページには4つの建設予定地が比較検討されていましたが、5つ目の候補場所として、現在ウオロクがありコメリが建設中の後ろ側の田んぼは、予定地としてどうでしょうか。 1 番の難点としては、市有地0平方メートルす。 嘉平山の予定地の3分の1くらいの面積だと思います。しかしながら、この場所は市街化区域です。そして利点として 1.国道より市街地側でアクセスが良い 2.東側が国道に面している 3.場所が分かりやすい 4.周辺に市の生活拠点となる市役所・消防署・中学校・中条高等学校などがある（コンパクトシティ） 5.市民生活のにぎわいの中にある場所なので、気軽に徒歩で行ける。もちろん車でも。 6.用水路に沿って、土手に桜が植えてあり、ベンチ・東屋もあります。近所の方は犬の散歩やジョギングなどを楽しんでいます。 7.楕形山脈が見えます。 8.中条高等学校の生徒さんは、学校帰りに図書館で勉強をしている。この距離であれば徒歩で立ち寄ってもらえる。 9.嘉平山の方より熊への心配が少ないと思われる。 10.羽越水害の経験から平らな土地が好ましい。 11.嘉平山の予定地の3分の1くらいの面積ではありますが、四方から行き来ができるので、作り方によっては面白くなるのではないのでしょうか。 12.胎内市は自然がいっぱいあるので、図書館と公民館は山にこだわらず、建物内の木育的なリラックス効果が期待できる「内装の木質化」などを取り入れて、地域で誇れるものを目指す方がよいのではないのでしょうか。 この場所は市街化区域なので、お店や住宅となるのも良いのですが、地図を見て分かるように、周辺を住宅に囲まれていながら、中心部といえるような場所で、それでいてポツカリと空いているまとまった土地なのです。かつてはJOY タウンがあったように、市民が楽しめる場所として機能し、新たな知識と交流と学習の拠点をここで創出できるとしたら、今までより使い勝手が良く、老若男女みんなが楽しく集える場所となり、活気も生まれ胎内市の資産となるのではないかと考えました。
55	・図書館、公民館、多世代交流機能を併せ持つ生涯学習施設が建設されることは喜ばしいことである。 しかし、国道7号線をはさむ現候補地は、利用する小中学生や高齢者にとって、安全面で不安がある。 車で送迎するにしても、冬期間は降雪・積雪により道路状況が悪くなり、利用をためらうことも想定できる。 市街地での建設を希望する。 ・「より多くの市民が、行きたい時に自由に行けるような所に」と考えるが、他に適切な候補地がどこにあるのかは分からないので、「利用者目線で建設地の検討を」と願うのみである。 ・人口減少も進み、街中の空洞化が危惧される本市において、公共施設建設は、胎内市の街づくりにかかわる課題であると思う。市の中心はどこか。どのような街にするのか。将来展望にたって、建設地とともに、胎内市の規模に見合う、コンパクトでもあっても3つの機能を採り入れた施設設計にも十分な検討を重ね、よりよい基本設計で、建設へと進むことを期待している。
57	建設予定地の関沢は良くない。 距離的に利用しにくい。
59	生涯学習施設についてのパブリックコメントですが、もう少し先を考え胎内市 4 中学校統合の件と中条高校の持続可能性についても関連付けて考える必要があ

	と思うものです。 生涯学習施設と中学校統合と中条高校の存続を市の将来計画として3つの課題を一緒に考えたいと思います。 その前提は人口減少、経済の低迷で税収の減少が予想される中、財政の健全・維持が大きな課題となっています。これらを念頭に置いて考えなければならないと思います。 これからの市政運営でもあらゆる面での事業費の抑制が大きな課題でもあると思います。新しいものを新しい場所につくる、統合したら新しい場所に新しいものをつくるとの従来の考え方では事業費の抑制にはなりません。 具体案として生涯学習施設は旧町体とし、4中学校を統合した中学校は中条高校の校舎を利用し、かつ中条高校の持続可能性を考える必要があるとの思いです。 以上が私のパブリックコメントの主旨です。 以下詳細を記します。 ① 生涯学習施設は胎内市生涯学習施設整備基本計画(案)をベースにするが場所は旧町体とします。 理由:(案)の建設予定地（嘉平山） a. ・利便性が悪い：利用者の大半が国道を横断しなければならない。 ・歩行者、自転車 が 100%地下道を利用するでしょうか？ ・国道を横断による交通事故が懸念されます。 ・利便性が悪い ため利用者減が考えられます。 ・天候の悪い ときの行き来が大変(心配) ・図書館の利用者は生涯学習施設整備基本計画(案)の資料では 7~12 歳で約 10%、60 歳以上が約 60%と全体の約 70%を占めています。これらの人の利便性を考えれば旧町体、現中央公民館、現中条中学校の一体が適地と考えます。 b. ・利用者のためにあらたに公共交通機関（デマンドタクシー）の運行を予定されているようですがナンセンスではないでしょうか。（お金がかかる） ・公共交通機関を利用しなければならないことが利便性の悪さになりませんか。 ・公共交通機関はランニングコストがかかる。 ・タクシー、バスの運転手不足があり、ますます深刻が予想される。 c. 事業費が嵩む。 山を平地にし、かつインフラを整備することだけでも多大な投資となる。 d. 広さは十分であるが故過剰な施設・設備を造ることにならないでしょうか？ e. 旧町体とした場合道路事情が良くないとなれば産業道路からのアクセス道路の新設も検討が必要でしょう。民家の立ち退きも必要となりそうですが？ f. 下記の中学校が中条高校の校舎を使うようになれば土地を広く利用できます。 ② 胎内市内中学校 4 校統合の件 a. 4 校の統合後の校舎は中条高校校舎を利用できるようにする。 b. 中条高校は一時期 1 学年 8 クラスあったと記憶していますが現在は在校生総数 150 名足らずのようです。 (一時期 1,000 名近い生徒が在籍していたようです) ゆえに、ハード面は充分と思われます。 c. 中高一貫校の検討もお願いしたい。 ・市の中学校、県の高校を一体化するにはいろいろな障害があると思われますが改革は障害を克服しなければ達成はできないと思います。 ・やるのだ!!との強い意識、姿勢があれば可能ではないのでしょうか。中条高校の持続可能性の観点からもどうしてもお願いしたい課題です。 d. 統合中学校を新たな場所に建設しない。 ・前述した人口減少、経済の低迷が予想される中での従来型思考は許されないと思います。 それは事業費かかりすぎるので、あらたな発想が必要であると思います。 ・統合した中学校が新しい場所に新設されれば現中条中学校の生徒もバス通学となるでしょう。 ・生徒数の多い学校を中心に統合を考えるべきで、全ての生徒バス通が公平とは思われない。ただ、通学という観点でみればそうかもしれないがそれだけで判断をすべきではないと思います。 ・バス通学は昨今運転手不足であり、ランニングコストもかかります。 ・バスを使うことによる諸問題の発生が考えられるのでその要因を極力少なくしなければなりません。例えば、バスの乗り遅れなどの対策は？ ・この観点からも生徒のバス通学者の数は極力少なくしなければなりません。 e. 現中学校が中条高校を利用すれば生涯学習施設の用地として広く活用できます。
--	--

	③ 中条高校の現状 最近中条高校の某イベントに参加しました。 その時私は中条高校の在生徒総数が 150 名足らずと見受けビックリしました。これから先どんなことになるだろう？ 危機感がありました。 上記しましたが中高一貫校を含め中条高校持続可能性を模索して頂きたいと思っています。 まとめ 生涯学習施設整備基本計画(案)にもありますが 「人口推計や持続可能性を考慮することで効率化を図り、可能な限りコンパクトな施設を実現し、建設・維持管理コストの圧縮を図る」とあります。 市内 4 中学校の統合、特に中条高校の存続可能性を最優先に考えて頂き、中学校は現中条高校、文化的施設は旧町体エリアとする。 上記の考え方のもと高所・大所からのご検討をお願いするものです。 以上
--	--

2 回答

【建設候補地について】（関係する質問：上記全て）

胎内市生涯学習施設整備基本構想の策定にあたっては、当時の検討委員会やワークショップを通じて、市民代表の皆様からいただいたご意見を踏まえ、図書館や公民館の機能に加え、多世代や子育て世代の全市民を対象とする施設として検討を進めてきております。

建設候補地につきましては、駅周辺や旧中条体育館跡地といった案も挙がりましたが、たとえば駅周辺は敷地の広さを含め、適切な土地の確保が難しいこと、また旧中条町体育館跡地は今後の統合中学校の建設候補地としても検討されていることなどから、様々な条件を総合的に勘案し、現時点では関沢地内（通称：嘉平山）をあくまでも予定地ではなく、有力候補地として挙げているところです。※基本計画（案）18 頁、「5 建設候補地」参照

また、県立中条高等学校の存続可能性については、先般、県教育委員会が公表した県立高校等再編整備計画において、令和 11 年度までの統廃合の対象とはされておられません。市としても、地元高校の存続を前提に「地域みらい留学」の取組を進めており、したがって、現時点では、当該高校を候補地とする状況にはないことをご理解ください。

建設候補地に関しては、市民の皆様からいただいた多様なご意見を今後も丁寧に受け止めながら、専門的な知見も踏まえて、できる限り多くの皆様にご利用いただけるよう、望ましい方向性を見出してまいりたいと思います。

なお、今後、市民説明会を開催し、市民の皆様からの様々なご意見に耳を傾けながら多様な意見を望ましい方向に集約すべく、市に対して答申を行っていただく組織を立ち上げる予定としております。

【徒歩で行ける場所について】（関係する質問：No1、3、4、21、22、26、31、32、35、44、53）

生涯学習施設は地区住民に限らず、市内全域の市民の皆様にご利用いただくことを前提としております。全ての地域から徒歩でお越しいただけるわけではありませんが、できる限り多くの方がアクセスしやすい立地となるよう検討を進めてまいります。

また、「のれんす号」の活用に加え、定期バスの運行についても検討してまいりたいと考えております。

なお、生涯学習施設は市民全体の施設として位置づけておりますが、現在の図書館と中央公民館は、これまで主たる利用の実相としては、中条地区の皆様施設としての役割を果たしてきたものと受け止めており、中条地区においても、乙、築地、黒川地区の地区公民館等と同様に、図書室を併設した公民館的な機能については、既存施設の活用等を含め、その機能を維持していくことを基本方針としております。

【その他ご意見について】（関係する質問：上記全て）

その他いただいた貴重なご意見は、今後の検討や運営の参考とさせていただきます。